

まちトピ



袋井 学生、サイバー防犯活動協力へ

県警は7日、静岡理工科大（袋井市）の学生に、サイバー防犯ボランティアを委嘱した。サイバー犯罪対策課の原田達彦課長が同大を訪れ、情報学部や同大学院の7人に委嘱状を交付した＝写真＝。

県警が同大の学生に委嘱するのは初めて。学生はインターネット上の有害サイトの発見・報告や、県警が小学校などで行うサイバー防犯活動イベントに協力する。

原田課長は「勉強していることを生かし、県民が被害に遭わないよう協力お願いします」と

あいさつした。

同大学院理工学研究科2年の大場春佳さん(22)は「社会の動向や、どんなサイバー犯罪が起きているのかなど情報収集しながら取り組みたい」と話した。